

〈論文〉

スペイン語の形容詞慣用句 'sano y salvo'

小池和良

要旨

本稿の目的はスペイン語の形容詞慣用句 'sano y salvo' の使用環境を分析して、その統語的な振る舞いの特異性を明らかにすることである。'sano y salvo' の主な特徴を以下に挙げる：

- 1) 名詞に言及する点においては他の形容詞慣用句と共通しているが、大部分の形容詞慣用句と違って、付加的に名詞を修飾することができない：
*los rehenes sanos y salvos (cf. un hombre hecho y derecho)
- 2) 名詞に言及する際は、動詞もしくは動詞派生名詞との共起が義務的である。例外的なケースとして 'con' が導く前置詞句でも使用される。
- 3) 連結動詞・擬似連結動詞と共起する場合は属詞としての、語彙の意味を持つ動詞と共起する場合は、主語または直接補語に言及する叙述補語としての統語機能を果たす。
- 4) 動詞派生名詞が核となる名詞句内で、前置詞に導入される名詞句の叙述補語、場合によっては所有形容詞の叙述補語として機能する：
el rescate sanos y salvos de los rehenes (前置詞補語の叙述補語)
su rescate sanos y salvos (所有形容詞の叙述補語)

キーワード：'sano y salvo'、形容詞慣用句、属詞、叙述補語、名詞化

* 本稿は2021年10月9日～10日にオンライン形式で開催された「日本イスペインヤ学会第67回大会」で「形容詞慣用句 'sano y salvo'」という題目で行なった研究発表の草稿に加筆・訂正を加えたものである。有益な意見を与えて下さった参加者の方々に感謝の意を表します。またスペイン語の用例を母語話者としてチェックして下さった Germán Miguez 氏に謝意を表します。

1 目的

本稿ではスペイン語の形容詞慣用句 ‘sano y salvo’ (以下, SYS と記す) を考察の対象とする。形容詞慣用句は, 「形容詞と同じ統語機能を持つ語彙化した語句である」(NGLE: 1017, § 13.18a)⁽¹⁾。形容詞慣用句⁽²⁾は統語的には名詞を付加的に修飾する場合と, 動詞を介して名詞の属詞もしくは叙述補語として機能する場合があるが, SYS は後者でしか用いられない。つまり, 多くの形容詞慣用句と違って, この慣用句は, (1) に示すように付加的に名詞を修飾することができない。

- (1) *los rehenes sanos y salvos (cf. un hombre hecho y derecho)

本稿の目的はスペイン語の形容詞慣用句 SYS の統語的な使用環境を分析して, その統語的な振る舞いの特異性を明らかにすることにある。

コーパスとしてスペイン王立アカデミー (Real Academia Española) が提供するデータベース CORPES XXI に収録されている 501 の SYS の用例を分析したが, 他の辞書, データベースも随時参照した。

-
- (1) “Las locuciones adjetivas o adjetivales son grupos lexicalizados que se asimilan a los adjetivos en su funcionamiento sintáctico” (NGLE: 1017, § 13.18a).
- (2) 形容詞慣用句に関しては, 以下を参照されたい。Casares (1950: 177); Zuluaga (1980: 155-157); Corpas Pastor (1996: 97-99); García-Page Sánchez (2008: 115-119); NGLE (1017-1021, § 13.18); Penadés Martínez (2012: 100-115). 形容詞慣用句に関する個別的な研究として Nieto Ruiz (2014) がある。Castillo Carballo (2000a; 2000b) は形容詞機能と副詞機能を兼ねた慣用句に関する, また, Martínez López y Jørgensen (2014) は形容詞慣用句と動詞慣用句の辞書における記述に関する論考である。

2 形容詞慣用句と副詞慣用句

形容詞慣用句は、その統語機能から2種類に大別できる⁽³⁾。形容詞としての機能しか持たない慣用句（本来的形容詞慣用句）と形容詞もしくは副詞として使われる慣用句（形容詞兼副詞慣用句）である。

慣用句の認定はどの基準を採用するかによって異なる。表1は主な辞書に収録されている形容詞慣用句と副詞慣用句の数の分布を示している。Aは本来的形容詞慣用句、Bは形容詞兼副詞慣用句（もしくは副詞兼形容詞慣用句）、Cは本来的副詞慣用句の数である。

表1

	A	B	C
例	<i>como puños</i>	<i>en cadena, en abanico</i>	<i>como agua de mayo</i>
DCPEC	93	314	449
DFDEA	903	468	2922
DLA/DLNAP	432	152	1462

Aグループは、名詞を修飾するという形容詞に特有の性質を有し、副詞的に用いられることのない形容詞慣用句である。例えば、*verdades como puños*（真正正銘の事実）の‘*como puños*’はこのグループに属する。本稿の分析対象であるSYSはこのタイプの慣用句である。

Bグループは形容詞慣用句と副詞慣用句を兼ねたものである。形容詞慣用句であるが、副詞慣用句としても使われるもの（例：*en cadena, a media asta*）(NGLE §13.18a)⁽⁴⁾と、副詞慣用句であるが、形容詞慣用句としても

(3) 形容詞慣用句の形式的分類に関しては、García-Page Sánchez (2008: 115-119) を参照されたい。

(4) Muchas de ellas (=las locuciones adjetivas) presentan la estructura

使えるもの(例: en abanico, al rojo vivo) も含まれている。名詞を修飾する場合は形容詞慣用句, 動詞を修飾する時は副詞慣用句となる。例えば, ‘en profundidad’⁽⁵⁾ は ‘un análisis en profundidad’ (綿密な分析) では ‘análisis’ を修飾する形容詞慣用句であり, ‘analizar en profundidad’ (綿密に分析する) では ‘analizar’ を修飾する副詞慣用句である⁽⁶⁾。

Cグループは, 形容詞的に用いられることのない副詞慣用句である⁽⁷⁾。

3 形容詞慣用句の統語機能

形容詞慣用句は形容詞の機能を果たす。形容詞の統語機能は付加的に名詞を修飾するか (NGLE: 909, § 13.1m), ser などの動詞を介して名詞句を叙述する属詞機能 (NGLE: 909, § 13.1l) の2つである。形容詞慣用句の統語機能もこれに準ずる。属詞機能を果たす文の要素には属詞と叙述補語が

sintáctica de los grupos preposicionales y pueden ser, a su vez, locuciones adverbiales (NGLE: 1017, § 13.18a).

- (5) RAE の DLE では, 以下のように, en profundidad は loc. adv. (副詞慣用句) で提示されて, U. t. c. loc. adj. (形容詞慣用句としても使用) という補足が付いている。

en profundidad l. loc. adv. De forma completa, con el mayor cuidado y rigor. *La obra analiza en profundidad el problema del paro.* U. t. c. loc. adj.

- (6) NGL (1017, § 13.18a) は以下のペアを挙げている: analizar en profundidad ~ análisis en profundidad; cocinar a la griega ~ arroz a la griega; jurar en falso ~ juramento en falso; hablar en serio ~ conversación en serio; redactar en sucio ~ redacción en sucio; retransmitir en vivo ~ retransmisión en vivo; vestir de gala ~ vestido de gala (NGLE § 13.18a). これ以外に, 次の慣用句も同じ振る舞いをする: a bocajarro, a bote pronto, a brazo partido, a cámara lenta, a capa y espada, a cara descubierta, cara o cruz, a carta cabal, a cobro revertido, a comisión, a corazón abierto, al pie de la letra.

- (7) 表1のAとBの和が形容詞慣用句の数, BとCの和が副詞慣用句の数となる。尚, 表1の数は慣用句別ではなく, 語義別の数である。

あるので、形容詞慣用句は「名詞の修飾語」「属詞」「叙述補語」の3機能を果たす。

3.1 名詞の修飾語

(2)(3)に現れる形容詞慣用句(下線部)は、名詞(イタリック部)を修飾し、名詞句の一部である。

(2) Estaba fichado por la policía, acusado de estafas de poca monta.
(DLNAP, *de poca monta*) (下線部筆者, 以下同様)

(3) Pero, Magali, siempre fue una mujer de armas tomar (...).
(CORPES)

3.2 属詞

形容詞と同様に、形容詞慣用句は、連結動詞・擬似連結動詞を介する場合に属詞として使われる。

(4) El Maestro dice que en tu tierra *las mujeres* son de armas tomar. (CORPES)

(5) Con una tienda en Helsinki, *esta firma* continúa en activo produciendo los muebles... (CREA)

3.3 叙述補語

形容詞慣用句は、語彙的意味を持つ動詞と用いられる場合は叙述補語⁽⁸⁾として機能する。主に、自動詞と共起する場合は主語に言及する(用例

(8) 叙述補語という名称は、NGLE (2864: § 38.6a)によれば、伝統文法がフランス語伝統文法から採った用語で、属詞の異形である。この用語を避けて、「主語の属詞」「直接補語の属詞」という言い方を用いる文法家もいる。

(6)), 他動詞と使われる場合は直接補語に言及する叙述補語の機能を果たす (用例(7))。

(6) *La mercancía* llegó hecha una lástima. (DS, *lástima*) (主語に言及)

(7) ¿Televisan el partido en abierto? (DCPEC, *en abierto*) (直接補語に言及)

4 sano y salvo

4.1 意味と形式

SYS は人にも事物にも言及できる。人に言及するときは「無事に」の意味を示し、事物 (形のある物) に言及するときは「無傷の, 損傷のない」の意味を表す⁽⁹⁾。

(8) Los 21 tripulantes del sumergible se encuentran sanos y salvos. (DFDEA, *sano y salvo*)

(9) No te preocupes, los muebles llegaron a casa enteros, sanos y salvos. (DS, *entero*)

形式的にはSYSは言及する名詞と性数一致する。つまり, 'sano y salvo', 'sana y salva', 'sanos y salvos', 'sanas y salvas' の形で使われる (用例(10)(11))。しかし, 'sano' と 'salvo' の語順を入れ替えることはできない (*salvo y sano)。

(9) DFDEA の定義を以下に示す: [Pers.] que se encuentra en perfecto estado tras superar un peligro físico. 2. [Cosa] intacta o que se encuentra en perfecto estado tras superar un peligro.

- (10) Todos llegamos sanos y salvos (*salvos y sanos) - volvió a decir. (CORPES)
- (11) Las cuatro expedicionarias salimos sanas y salvas (*salvas y sanas). (CORPES)

4.2 統語機能

SYS は形容詞慣用句であるにもかかわらず, (12)のように「名詞の修飾語」として使われることはない。これはこの慣用句の大きな特徴である。

- (12) *Los rehenes sanos y salvos se sintieron aliviados.

この点において, 同じ「形容詞 +y+ 形容詞」の統語構造を持つ 'hecho y derecho', 'corriente y moliente' とは対照的である。これらの形容詞慣用句は(13)(14)のように, 名詞の修飾語として用いられるからである。

- (13) Tu hijo ya es un hombre hecho y derecho. (DGLLEV, *hecho*)
- (14) Tiene una casa corriente y moliente. (DS, *corriente*)

SYS は前章で述べた「属詞」もしくは「叙述補語」の機能だけを果たす。このいずれの機能も動詞との共起が義務的である⁽¹⁰⁾。換言すると, SYS は動詞を媒介として名詞について言及する慣用句である。

また, この慣用句と共起する動詞には意味的な制限がある。REDES は SYS と共起する 36 個の動詞を以下の 6 つの意味グループに分類して提示している (日本語部分は拙訳)。

(10) 動詞が名詞化して動詞派生名詞と使われる場合については後述する。

- A. 救出・救助・解放を示す動詞：recuperar, rescatar, liberar, recoger, repatriar⁽¹¹⁾, sacar
- B. 到着・出現・帰還を示す動詞：llegar, aparecer, regresar, retornar, volver, nacer, aterrizar, bajar, caer, reaparecer, arribar, emerger
- C. 遭遇・発見を示す動詞：localizar, encontrar, hallar
- D. 出発・逃走を示す動詞：salir, escapar, abandonar, marchar, evacuar
- E. 状態を示す動詞：permanecer, seguir, quedar
- F. 移動・運搬・引き渡しを示す動詞：devolver, traer, dejar, entregar, llevar, trasladar, reintegrar

共起する動詞の種類によって、統語機能が二つに分かれる。以下、「属詞」の場合と「叙述補語」の場合に分けて考察する。

1) 属詞

連結動詞や擬似連結動詞と使われる場合は、主語の属詞である。この場合は文の義務的要素（項）である（(15)(16)を参照）。

- (15) “Pero gracias a Dios, la madre está sana y salva”, añadió para consolarla. (CORPES)
- (16) El periodista del diario británico (...) ha sido puesto en libertad y se encuentra sano y salvo, según ha confirmado el propio periódico. (CORPES)

REDES の E グループの動詞（状態を示す動詞）と使われるときは、SYS

(11) SYS と下線部の動詞との使用例は CORPES にはなかった。

は属詞として働く。CORPES の SYS の 501 例のうち 89 例 (17.8%) が属詞として使われている⁽¹²⁾。

2) 叙述補語

それ以外の語彙的意味を持つ動詞 (REDES の E グループ以外の動詞) と使われるときは、主語もしくは直接補語に言及する叙述補語として使われる。この場合は、文の任意の要素で、SYS を削除しても、動詞の語彙的意味は維持される (NGLE: 2872, § 38.7a)。(17) (18) は主語に言及する叙述補語, (19) (20) は直接補語に言及する叙述補語としての SYS の使用例である。

(17) Conseguimos llegar sanos y salvos, después de un accidentado viaje en autobús. (DS, *sano*)

(18) Hubo muchas turbulencias durante el vuelo, pero atterizamos sanos y salvos. (DCPEC, *sano y salvo*)

(19) Tras el derrumbre, rescataron a varios niños sanos y salvos. (DCPEC, *sano y salvo*)

(20) Los secuestradores devolvieron sano y salvo al rehén. (DCPEC, *sano y salvo*)

CORPES の SYS の 501 例のうち 382 例 (76.2%) が叙述補語として使われている。

(12) CORPES の 501 例の SYS の機能別の分布を以下に示す。B・Cについては後述 (4.4, 4.5 参照) する。E の「その他」は新聞の見出しや曲名のタイトルなどに使われている例で、本稿の考察の対象外とする。

A	動詞句内の叙述補語	382 例
B	名詞句内 (名詞化) の叙述補語	12 例
C	前置詞句内の叙述補語	6 例
D	連結動詞文の属詞	89 例
E	その他	12 例

以上から、SYSは属詞もしくは叙述補語としてしか用いることのできない形容詞慣用句であると言える。統語的な使用環境がこのように限定されている形容詞慣用句は、DFDEA・DLNAP・DCPECには存在しない。例えば、形容詞慣用句‘en activo’は属詞としても(用例(21))、名詞の修飾語としても用いられる(用例(22))。

(21) Con una tienda en Helsinki, esta firma continúa en activo produciendo los muebles… (CREA)

(22) una encuesta dirigida a los trabajadores en activo del sector agrario. (DCPEC, *en activo*)

「名詞の修飾語」として使用できない点、連結動詞・擬似連結動詞もしくは特定の意味特徴を持つ動詞を介して名詞(句)に言及する点において、SYSは他の形容詞慣用句と一線を画している。

なお、叙述補語としてのSYSの意味は、NGLE(2865: §38.6a)による叙述補語の4タイプの意味分類の中の「結果」を示す⁽¹³⁾。

4.3 名詞句内のSYS(名詞化)

SYSのもう一つの特異性は、共起する動詞の名詞化が可能という点である。名詞化の結果、SYSは名詞句内で叙述補語として機能する。(23)の下線部はSYSを叙述補語としてとる動詞の名詞化の例である。

(23) Quiero informarle al país que emplearemos todos los recursos

(13) 以下の4タイプである(日本語訳、下線部は筆者)：

1. 付随的叙述補語: Esta crema se sirve fría.
2. 原因を示す叙述補語: Murió fusilado.
3. 条件・様態を示す叙述補語: Lo preferiría más pequeño.
4. 結果を示す叙述補語: La hierba crece alta.

que sean necesarios por el tiempo que sea necesario hasta lograr el rescate sanas y salvas de estas 190 personas ... (CORPES)

(23)ではSYSは 'rescate' ではなく 'estas 190 personas' と性数一致している。このことは、この慣用句が前置詞 *de* に導入される 'estas 190 personas' の叙述補語であることを示している。(23)の名詞句(下線部)は(24)に対応する名詞句である。

(24) Rescatan sanas y salvas a estas 190 personas.

ところで, Penadés Martínez (2012: 104) は, このSYSを叙述補語ではなく, (25)を例示して「名詞句の修飾語の機能を果たす」と述べている⁽¹⁴⁾。

(25) lograrían la recuperación de la niña, sana y salva, y sin que sus padres pagaran una sola peseta por su rescate. (Ejemplo citado por Penadés Martínez)

しかし, (25)の 'sana y salva' は動詞派生名詞 'recuperación' を介して 'la niña' に言及する叙述補語である。つまり, 'recuperar a la niña sana y salva' が名詞化したと考えられる。これは, この名詞句が 'su recuperación sana y salva' と言えることから明らかである。所有形容詞による置換(代名詞化)については次節(4.4)で考察する。

SYSが名詞句内で叙述補語として使われる他の用例を以下に挙げる。いずれも REDES が示している動詞 (retornar, rescatar, entregar, devolver, liberar) の派生名詞が使われている。括弧内に対応する動詞句を示す。

(14) [...] también se puede encontrar algún ejemplo en que (*sano y salvo*) desempeña la de modificador del sintagma nominal (Penadés Martínez 2012: 104).

- (26) (...) pero dijo que además de ello “nuestra mayor prioridad es el retorno sanos y salvos de los tres rehenes estadounidenses” capturados por las FARC hace tres años. (CORPES) (< retornar los tres rehenes estadounidenses sanos y salvos)
- (27) El rescate, sanos y salvos, de los rehenes se produjo en una zona montañosa de (...) (CREA) (< rescatar sanos y salvos a los rehenes)
- (28) (...) con las garantías del Gobierno que aseguren la entrega, sanos y salvos, de los secuestrados, para poner fin a este terrible drama. (CORPES) (< entregar a los secuestrados sanos y salvos)
- (29) Además de la reivindicación lingüística dirigida al Gobierno argelino, los bereberes de Kabilia exigen “la devolución, sano y salvo” del cantante Lunes Matub, secuestrado el pasado 25 de septiembre en un bar de Tizi-Ouzou. (CREA) (< devolver al cantante sano y salvo)
- (30) (...) además de la liberación sanos y salvos de los tres soldados israelíes secuestrados por Hamás e Hizbolá. (CORPES) (< liberar sanos y salvos a los tres soldados israelíes secuestrados...)

CORPES の SYS の 501 例のうち名詞化の用例は 12 例であった。

4.4 所有形容詞の叙述補語

前置詞 de に導入される名詞句の叙述補語であるということは、「de + 名詞句」が所有形容詞になった場合に、所有形容詞の叙述補語になりうることを示している。実際に、SYS は (31) (32) のように所有形容詞に言及する場合がある。

- (31) Volvió a mirar a doña Virginia y asombrado por su aparición,

sana y salva después de los disparos, se volvió hacia el sillón.
(CORPES)

- (32) Rechazaron la pretensión del ejército de rescatarlos por la fuerza, y pidieron a este organismo humanitario, al Comité Internacional de la Cruz Roja (CICR) y a la Comisión de Reconciliación Nacional, buscar un diálogo con los rebeldes para procurar su liberación sanos y salvos. (CREA)

SYS が所有形容詞の叙述補語として使われるまでの過程を以下に示す：

Doña Virginia apareció sana y salva > la aparición, sana y salva, **de doña Virginia** > **su** aparición, sana y salva

Los liberarán sanos y salvos > la liberación **de ellos** sanos y salvos > **su** liberación sanos y salvos

NGLE (2888: § 38.9k) は名詞句内の叙述補語と、名詞の修飾語との違いに言及している。叙述補語では、所有詞による置換が可能だが（用例(33)）、名詞の修飾語はこの置換ができない（用例(34)）⁽¹⁵⁾：

- (33) Narra en su libro el regreso de los exploradores heridos y aterrorizados. (NGLE: 2888: § 38.9k) [‘heridos y aterrorizados’]

(15) NGLE (2888, § 38.9k) によれば、他動詞、状態や場所の変化を示す自動詞（ほとんどの場合、非対格動詞）が叙述補語をとる場合は、名詞化された名詞句内でも同じ叙述補語をとり、所有詞による置換が可能である。以下の例は同書からの引用である（下線部が叙述補語）：

la deportación (< deportar) **de los ciudadanos** desarmados e indefensos > **su** deportación desarmados e indefensos

el desarrollo (< desarrollarse) **de las niñas fuertes y sanas** > **su** desarrollo fuertes y sanas

la huida (< huir) **de los sospechosos armados hasta los dientes** > **su** huida armados hasta los dientes

は ‘exploradores’ の叙述補語]

(負傷し恐怖にとらわれた探検家たちの帰還) (拙訳)

> Narra su regreso *heridos y aterrorizados* (負傷し恐怖にとらわれた彼らの帰還) (拙訳)

- (34) Contaba el regreso de los exploradores enviados > *Contaba su regreso *enviados*. (NGLE: 2888: § 38.9k) [‘enviados’ は ‘exploradores’ の修飾語]

以上から、SYS は所有詞による置換が可能なので、名詞句内で叙述補語として機能していることが確認できる⁽¹⁶⁾。

4.5 前置詞句内の SYS

最後に、前置詞句内で叙述補語として使われる SYS について触れておく。

- (35) Fueron diez minutos en los que permanecimos allí nosotros dos solos, mirando fijamente la puerta del quirófano, deseando ardientemente que se abriera de una vez *con nuestras dos chicas sanas y salvas*. (CORPES)

(35)の下線部は、名詞化の結果でもなく、‘sanas y salvas’ が ‘nuestras dos chicas’ を修飾して名詞句を形成しているわけでもない。この ‘sanas

(16) ‘sano y salvo’ と類似の意味を持つ形容詞 ‘ileso’ (DLE: ‘que no ha recibido lesión o daño’) も同じ統語的振る舞いを示す。この形容詞は通常は salir, resultar と使われるが, salir ileso (de) が名詞化して ileso が所有詞の叙述補語として使用される場合がある: “Hemos recibido con suma alegría la noticia de su salida ileso del trágico accidente de ayer tarde al recibir un disparo por accidente”, indica el presidente saharauí. (Spanish Web 2018: esTenTen18)

y salvas' は前置詞 'con' で始まる前置詞句内の叙述補語で, 'nuestras dos chicas' に言及している⁽¹⁷⁾。このことは代名詞による置換が 'con ellas' ではなく, 'con ellas sanas y salvas' となることから確認できる (NGLE 2884-2886: § 38.9.a-c)。

CORPES の SYS の 501 例のうち 6 例 (1.2%) が前置詞句内の叙述補語として使われていた。

5 まとめ

SYS は, 統語的に特異な形容詞慣用句である。その特異性を以下にまとめる:

- 1) 多くの形容詞慣用句と異なり, 単独で名詞の修飾語として使われることはない。換言すると, 「名詞+形容詞慣用句」の名詞句を作ることはいできない。
- 2) 名詞句に言及する際は, 動詞 (あるいはその動詞派生名詞) を必要とする。換言すると, SYS が名詞句を叙述するためには, 動詞もしくは動詞派生名詞との共起が義務的である。例外的なケースとして, con が導く前置詞句でも使用される。
- 3) 統語的には属詞もしくは叙述補語としてのみ用いられる。連結動詞もしくは擬似連結動詞と使われる場合は属詞で, 語彙的意味を持つ動詞と共起する場合は, 主語または直接補語に言及する叙述補語として機能する。
- 4) SYS が叙述補語のとき, 動詞句は名詞化が可能である。名詞化さ

(17) NGL (2884-2886: § 38.9.a-c) は前置詞 con, sin に導入される前置詞句内の叙述補語の統語的特徴を詳述している。

れた名詞句内においてもSYSは叙述補語の機能を維持する。この場合は、前置詞 *de* に導入される補語の叙述補語として機能するが、所有形容詞の叙述補語になる場合もある。

- > el rescate, *sanos y salvos*, **de los rehenes** (前置詞補語の叙述補語)
- > **su** rescate *sanos y salvos* (所有形容詞の叙述補語)

辞書・コーパスの略語リスト

- CORPES=Real Academia Española: Banco de datos (CORPES XXI) [en línea]. *Corpus del Español del Siglo XXI* (CORPES). <<http://www.rae.es/>> [6 de junio de 2021]
- CREA=*Corpus de Referencia del Español Actual*, Real Academia Española. <<http://www.rae.es/>> [junio de 2021]
- DCPEC=Bosque, I. (dir.) (2006), *Diccionario combinatorio práctico del español contemporáneo*, Madrid: Ediciones S.M.
- DFDEA=Seco, M.; Olimpia, A.; Ramos, G. (2005), *Diccionario fraseológico documentado del español actual*, Madrid: Aguilar.
- DGLEV=*Diccionario general de la lengua española Vox*, versión electrónica, 「辞書」 ver.2.3.0 (©2005-2020 Apple Inc.) に収録
- DLA=Penadés, Martínez, I. (2005), *Diccionario de locuciones adverbiales para la enseñanza del español*, Madrid: Arco/Libros.
- DLNAP=Penadés, Martínez, I. (2008), *Diccionario de locuciones nominales, adjetivas y pronominales para la enseñanza del español*, Madrid: Arco/Libros.
- DFEM=Varela, F. y Kubarth, H. (1994), *Diccionario fraseológico del español moderno*, Madrid: Gredos.
- DS=Gutiérrez Cuadrado, J. (dir.) (1996), *Diccionario Salamanca de la lengua española*, Madrid: Santillana.
- REDES=Bosque, I. (dir.) (2002), *REDES. Diccionario combinatorio del español contemporáneo*, Madrid: Ediciones S.M.
- Spanish Web 2018: esTenTen18, *Sketch Engine database*, URL: https://app.sketchengine.eu/#dashboard?corpname=preloaded/estenten18_fl5

参考文献

- Casares, J. (1950), *Introducción a la lexicografía moderna*, Madrid: C.S.I.C.
- Castillo Carballo, M.^a A. (2000a), «Un nuevo tipo de locuciones: Las adjetivo-adverbiales», A. Pamies Bertrán y J. de Dios Luque Durán (eds.) *Trabajos de lexicografía y fraseología contrastivas*, 137-143.
- _____ (2000b), «Función adjetival y adverbial de algunas locuciones», *Español actual*, 73, 57-64.
- Corpas Pastor, G. (1996), *Manual de fraseología española*, Madrid: Gredos.
- García-Page Sánchez, M. (2008), *Introducción a la fraseología española. Estudio de las locuciones*, Barcelona: Anthropos.
- Koike, K. (2001), *Colocaciones léxicas en el español actual: estudio formal y léxico-semántico*, Madrid/ Tokio: Univ. de Alcalá/ Takushoku Univ.
- Martínez López, J.A. y Jørgensen, A. (2014), «Las locuciones adjetivas y verbales en un diccionario fraseológico de producción», *Anuario de Estudios Filológicos*, vol. XXXI, 69-83.
- Nieto Ruiz, L.F. (2014), «Las locuciones adjetivales en cinco diccionarios de la lengua española», *Cuadernos de lingüística hispánica*, 24, 61-84.
- Penadés Martínez, I. (2012), *Gramática y semántica de las locuciones*, Madrid: Univ. de Alcalá.
- Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española (2009), *Nueva gramática de la lengua española. Morfología y sintaxis*, Madrid: Espasa Libros. [NGLE]
- Ruiz Gurillo, L. (1998), *La fraseología del español coloquial*, Barcelona: Ariel.
- Zuluaga, A. (1980), *Introducción al estudio de las expresiones fijas*, Fráncfort a. M.-Berna, Verlag Peter D. Lang.